

八戸方言調査参加募集について

2019年5月20日

国立国語研究所 言語変異研究領域

木部暢子

趣旨説明：国立国語研究所「消滅危機言語・方言」プロジェクトでは今年度（8月下旬）、青森県八戸市において調査をおこなうことになりました。この調査では、方言のフィールドワークに興味を持つ大学生（4年生以上）・大学院生を対象に、調査に参加し、フィールドワークを経験する機会を提供します。ただし、帯同人員に限りがあるため、以下の要領で選考をおこないます。

今回の調査には、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）との連携の下、言語記録の作成の方法などについての研修も含まれています。事前研修・調査ともに参加するようにしてください。調査のみや事前研修のみの参加は受け付けません。調査と事前研修の詳細については下部をご参照ください。

応募資格：方言のフィールドワークに興味を持つ国内の大学生（4年生以上）及び大学院生

応募締切：2019年7月7日（日）

定員：若干名

書類の送付先：haoi@ninjal.ac.jp 青井隼人（AA研・国語研）

e-mail のみにて受け付けます。応募書類は pdf で添付してください。

提出書類：① 履歴書（書式自由）

※ フィールドワークの経験があれば、期間・場所とテーマを記してください。

② 研究業績一覧（書式自由。業績がない場合、提出の必要はありません）

③ 1. 志望動機、2. 現在取り組んでいる研究、3. 今後取り組みたい研究の3点について A4 サイズ 1 枚にまとめたもの（全体で A4 サイズ 1 枚）

選考基準：提出書類に基づいて判断します。

※ 同一機関から複数の応募があった場合は 1 名に絞る場合があります。

結果通知：2019年7月17日（水）までにe-mailにて通知いたします。

備考：・指導教官の同意を得たうえで応募してください。
・選考通過後に指導教官の同意書を提出していただきます。

問い合わせ先：青井隼人（AA研・国語研） haoi@ninjal.ac.jp

八戸調査および事前研修の案内

調査日程：2019年8月26日（月）午後～29日（木）午前
※ 調査は8月27日～28日を予定。8月26日と29日は移動日になります。
※ 調査日程は1～2日程度前後する可能性があります。日程が確定し次第、調査参加者には追ってご連絡します。

調査場所：青森県八戸市

調査内容：1. 動詞活用などの文法項目に関する調査
2. 語彙調査
3. 談話の録音、書き起こし
※ 調査内容は変更の可能性があります。

事前研修：・調査前の1週間のうちの1日を予定しています。
・期日、場所、内容などは、採用された方に希望をお聞きした上で決定します。

費用：・交通費、宿泊費を主催者側が負担します。ただし、交通費は立替払い。
・食費などは参加者負担。

備考：・保険に加入していただきます。この費用も主催者が負担します。
・事後研修がある場合があります。

参考：昨年のむつ市調査と事前研修については以下をご参照ください。

https://www.ninjal.ac.jp/research/project-3/institute/endangered-languages/fieldwork_mutsu/